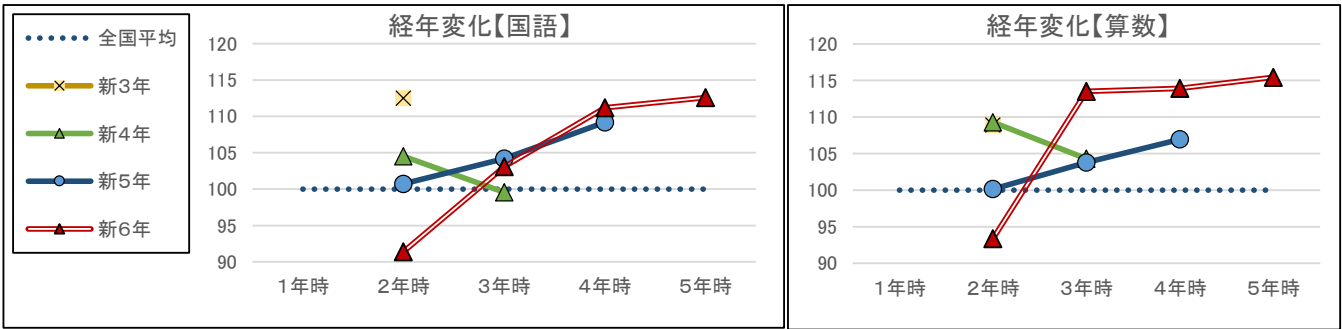


I 前年度の各種調査から見られる学校の状況

① 各学年の標準学力検査の経年変化（全国平均を100とする標準スコア）

※釧路市では、3～6年生を対象に標準学力検査を実施していますが、本校では、独自に2年生においても実施しています。



② 学校の状況

- ・算数では、すべての学年で全国平均を上回っている。
- ・国語では、ほとんどの学年で全国平均を上回った。
- ・ほとんどの学年で国語・算数ともに学習の基礎と活用する力が全国平均を上回っているが、基礎の力から照らし合わせると向上の余地があると考えられる。
- ・国語の領域では、【情報の扱い方に関する事項】【我が国の言語文化に関する事項】【話すこと・聞くこと】【読むこと】に課題の見られる学年があった。
- ・観点別に見ると、すべての観点で全国平均を上回った。
- ・国語・算数ともに記述式の問題では、全国平均を上回ったが正答率から考えると課題も見られる。
- ・全体的に学力の二極化が見られた。
- ・スマートフォンの使用時間が増加しているのに対し、読書の時間が少ない傾向が見られる。

II 今年度の学力向上に係る重点取組

① 学校全体での取組

授業づくり	学習集団づくり	学習習慣・環境づくり
○自ら学ぶ子どもの育成 ・芦野小スタンダードの徹底 ・学校研修の充実 ・学び合い活動の充実 ・自己決定の場の設定 ・ICTを活用し、個別最適化した学びと協動的な学びの充実 ・景雲中学校・愛国小学校と連携を図り、目指す姿を共有する。	①学習規律の徹底 ・芦野スタンダードの徹底 ・自己肯定感・自己有用感・自己効力感 の持てる児童を育成する研修の充実 ②居心地のよい学級づくり ・Q-U、アセスを有効活用 ・個人面談の実施 ③いじめ根絶 ・道徳教育の充実	①朝学習の取り組みの充実 ・朝読書、読み聞かせ ・芦野っ子チャレンジ ・学習の振り返り ②放課後学習 ・放課後チャレンジ ・放課後スマイル ③家庭学習 ・自主学習の促進 ・パワーアップ習慣

② 各学年の指導の重点

1年生の重点	4年生の重点
・平仮名・片仮名・漢字の定着を図る。 ・たし算・ひき算の定着、大きな数・時計の理解を図る。 ・自分の考えを持ち、記述できる力を養う。 ・文章を読み取る力の育成を図る。	・漢字・ローマ字・言葉のきまりの定着を図る。 ・物語や説明文を読み取り、場面の移り変わりを捉えるなどの情報を扱う力を養う。 ・小数の計算・計算のきまり・コンパスの扱い方の定着を図る。 ・自分の考えを持ち、記述し、交流する力を養う。
2年生の重点	5年生の重点
・漢字、言葉のきまりの定着を図る ・かけ算・繰り上がりのたし算・繰り下がりの引き算の定着を図る。 ・文を読み取り、読み取った情報を活用する力を養う。 ・自分の考えを持ち、記述できる力を養う。	・漢字・言葉のきまりの定着を図る。 ・敬語の使い方を理解を図る。 ・小数の計算力の向上・小数と分数の大小比較の理解を図る。 ・文章を読み取ったり資料を活用したり情報を扱う力を養う。 ・自分の考えを持ち、記述し、交流する力を養う。
3年生の重点	6年生の重点
・漢字・言葉のきまり・ローマ字の定着を図る。 ・物語や説明文を読み取り、必要な情報を適切に使う力を養う。 ・四則計算・計算のきまり・コンパスの扱い方の定着を図る。 ・自分の考えを持ち、記述できる力を養う。	・漢字・言葉のきまりの定着を図る。 ・敬語について理解し、適切に使えるようにする。 ・文章や資料を読み取り活用する情報を扱う力を養う。 ・単位量あたりの大きさについて理解し、活用できるようにする。 ・自分の考えを持ち、記述し、交流する力を養う。